

保護司会会報

発行 西多摩地区保護司会 会長 中野 修 編集 西多摩地区保護司会 広報部 発行日 令和7年7月15日



福生市横田基地日米友好祭（在日米空軍横田基地公式アカウントXより）

目次

- | | |
|------------------------------|---------------------------------|
| ・ 表紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 | ・ 多摩連全体研修会に参加して・・・・・・・・・・ 6 |
| ・ 会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 | ・ 西多摩地区更生保護女性会との協議会・・・・・・・・ 6 |
| ・ 西多摩保護司会役員名簿・・・・・・・・・・ 2 | ・ 国際更生保護ボランティアの日・・・・・・・・・・ 7 |
| ・ 西多摩地区保護司会定期総会・・・・・・・・ 3 | ・ 特別研修「保護観察と発達障害」に参加して・・・・ 7 |
| ・ 着任のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 | ・ H@ がより使いやすいものとなりました・・・・・・・・ 8 |
| ・ 表敬訪問・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4・5 | ・ 会務報告・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |
| ・ 西多摩地区保護観察協会総会・・・・・・・・ 5 | |

会長就任のご挨拶

西多摩地区保護司会 会長 中野 修



会員の皆様には、日ごろから「犯罪予防や再犯防止活動」にご尽力いただき、誠に有難うございます。私は令和7年度の定期総会にて会員の皆様にご承認を頂き、会長に就任しました。現在、当保護司会が抱えている課題は、サポートセンターの羽村から青梅への移転問題があります。サポートセンターの移転を受け入れて下さった青梅市及び青梅分区の皆様には大変お世話になっております。令和8年度中に滞りなく移転できるように準備を進めることといたします。

また、全分区での保護司数は130名と減少しており、令和10年には多くの退任者が予定されていることから、後任保護司の確保に会員の皆様方と共に努力してまいります。新任保護司の年齢が高くなっていることを考えると、特例再任で78歳前日までは事件担当や企画調整保護司等につくことが可能ですが、これを特例再任期間満了まで上述の扱いとなるように変更できれば、対象保護司のモチベーションの変化を期待でき、かつ保護司の充足をある程度埋めることができるようになるかもしれません。

もう一つ取り組まなければいけないこととしては、西多摩地区保護司会の作業が多岐にわたり処理の担当分けが進んでおり、提出書類等のチェックが機能していないようになっていることであります。事と次第によっては、次年度の収入にも影響を及ぼすようなことが起きないとは限りません。会計、総務、研修、地域活動、広報とそれぞれの部門でチェック機能の再構築を進めていきたいと思っておりますので、会員の皆様、どうぞ宜しくお願いします。

西多摩地区保護司会役員名簿

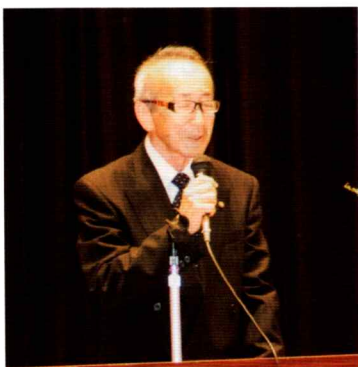
役職	所属部	氏名	所属分区
理事（会長）		中野 修	羽村分区
理事 （副会長） （4名）	総務部長	對馬 伸一郎	日の出分区
	研修部長	志村 武保	瑞穂分区
	地域活動部	小峰 一郎	奥多摩分区
	広報部長	郡司 光志	福生分区
理事 （常任理事） 各分区長 （8名）	総務部副部長	島田 睦	青梅分区
		萩原 稔	羽村分区
	研修部副部長	小山 幸久	瑞穂分区
		小林 悦雄	檜原分区
	地域活動副部長	瀧島 肇	奥多摩分区
		辻本 恵子	日の出分区
	広報部副部長	大河内 公夫	福生分区
		岡部 秀敏	あきる野分区
理事 （25名）	総務部員 （庶務担当3名）	福田 米親	青梅分区
		羽村 薫	羽村分区
		佐藤 幸広	あきる野分区
	総務部員 （会計担当2名）	安藤 尚子	青梅分区
		森田 雅枝	福生分区
		小島 良彦	青梅分区
	研修部員 （7名）	岡本 栄	福生分区
		加藤 博	羽村分区
役職	所属部	氏名	所属分区
理事	研修部員	平井 裕	あきる野分区
		森本 久仁子	あきる野分区
		宮崎 修	瑞穂分区
		佐藤 春彦	日の出分区
	地域活動部員 （7名）	町田 幸子	青梅分区
		吉野 真智子	福生分区
		中野 秀之	羽村分区
		田中 守	あきる野分区
		星野 護	あきる野分区
		大澤 健男	奥多摩分区
		野村 雅己	檜原分区
	広報部員 （6名）	星野 和弘	青梅分区
		田中英一郎	青梅分区
		玉川 薫	青梅分区
		野島 栄二	福生分区
	監事 （3名）	高橋 弘貴	瑞穂分区
		木宮 憲子	奥多摩分区
		指田 勇	羽村分区
	顧問	私市 豊	あきる野分区
		杉村 誠二	奥多摩分区
		原島 悟	あきる野分区

西多摩地区保護司会定期総会

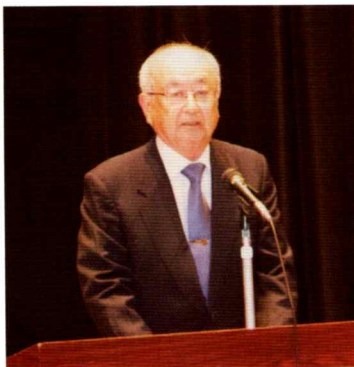
総務部長 對馬伸一郎

令和7年4月25日、秋川ふれあいセンターにて定期総会が開催されました。所属保護司130名のうち出席82名、委任状46名の参加でした。

司会進行は對馬総務部長が担当し、指田地域活動部長の開会の言葉、原島会長の挨拶、倉持研修部長の来賓紹介を経て、私市総務副部長の資格審査報告の後、福生分区平井保護司を議長に選任。その後、令和6年度事業・収支決算・監査報告並びに令和7年度事業計画・収支予算案、小島良彦選考委員長の報告に基づく新役員選任案等が賛成多数で承認されました。



原島会長挨拶



中野新会長挨拶



退任保護司代表挨拶 村上浩氏

続いて、中野新会長の挨拶、新役員、新任・退任保護司の紹介、退任された保護司・役員への感謝状、記念品贈呈および各代表者の挨拶が行われました。

多数の御来賓より、あきる野市吉野敏郎副市長、立川支部中原謙次統括保護観察官、東保連針谷修副会長から御挨拶を頂き、志村新副会長の閉会の言葉により盛会裏に終了となりました。

なお昨年同様、あきる野分区保護司の皆様には会場設営・撤収、駐車場誘導等ご支援頂きましたことに感謝申し上げます。



来賓祝辞
あきる野市吉野副市長



来賓祝辞
東京保護観察所立川支部
中原統括保護観察官



来賓祝辞
東京都保護司会連合会
針谷副会長



議事説明



総会来賓



総会会場

着任のご挨拶



東京保護観察所立川支部長
吉原 直深

この春の異動により、横浜保護観察所から転任してまいりました。

立川支部の勤務は初めてとなりますが、調布市出身の私にとって、多摩地域は大変親しみを感じる土地ですし、私の祖母が羽村町出身であることから、私も幼少時は「まいまいず井戸」などの史跡を興味深く訪ねた記憶があります。また、登山も好きですので、奥多摩などに足を運ぶ機会も多く、西多摩エリアの自然の美しさには、いつも心が癒やされております。

さて、4月17日が「国際更生保護ボランティアの日」と定められたことなどを受け、現在保護司に対する関心が高まっております。保護観察所としても、保護司の皆さまの尊い活動を多くの方々に御理解いただけるよう努めていくとともに、保護司の皆さまが安心して保護司活動に取り組むことができるよう、環境整備に力を入れてまいります。

ご負担をおかけすることも多いと思いますが、引き続きお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



東京都保護観察所立川支部
保護観察官 安藤 祐里

令和7年4月から東京保護観察所立川支部事件班の保護観察官として着任いたしました安藤祐里と申します。西多摩地区保

護司会の皆様におかれましては、日夜地域における更生保護活動に御尽力いただき、大きな成果を上げていただいておりますことに、心から感謝と御礼を申し上げます。今年度、縁あってあきる野分区、日の出分区、檜原分区を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は北海道と群馬県での勤務経験があり、このたび初めて西多摩地区での勤務をさせていただくことになりました。その土地その土地で様々な保護司のカラーがあると思います。そのカラーを活かした処遇ができるように、微力ではございますが、安全安心な地域社会づくりのために、西多摩地区保護司会の皆様方と力を合わせて取り組んで参りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

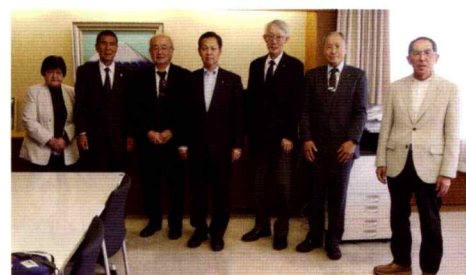


表敬訪問

広報部

役員改選を経た西多摩地区保護司会正副会長5名と各地区区分長は、西多摩地区7市町村の首長を表敬訪問し、新任の挨拶と社会を明るくする運動への協力をお願いしました。各首長からは、更生保護活動の重要性や行政の長としての街づくり、将来の展望に向けた構想などのお話を伺いました。青梅市長には、来年度完成予定のサポートセンター移転への感謝を伝えました。

5月13日 羽村市、日の出町、奥多摩町
5月20日 福生市
5月23日 青梅市
5月26日 あきる野市、檜原村
※瑞穂町長への表敬訪問は7月中に行う予定です。



日の出 東町長

西多摩地区保護観察協会総会

広報部

本総会は、令和7年4月25日西多摩地区保護司会定期総会に先立ち「秋川ふれあいセンター2階会議室」において、各分区から選出された代議員、4市3町1村の担当役員および事務局の出席で開催されました。

西多摩地区保護観察協会の役割は、犯罪予防更生保護事業の拡充を図り、明るい地域社会の発展に寄与することを目的に置かれています。西多摩地区保護司会や各市町村の更生保護活動、社会を明るくする運動などの犯罪予防の啓発活動に対する援助などで支えています。

総会は、中嶋博幸あきる野市長から会長挨拶を頂き日頃の更生保護活動の取り組みや保護司会員に対する感謝の言葉がありました。その後、あきる野分区私市豊議長の下、令和6年度事業報告と決算報告、令和7年度事業計画と予算および役員（会長：橋本羽村市長、副会長：杉浦瑞穂町長・中野西多摩地区保護司会会長）が審議され満場一致で承認され滞りなく終了しました。



会場風景



西多摩地区保護観察協会
中嶋会長挨拶



あきる野分区
私市議長挨拶



羽村 橋本市長



福生 加藤市長



青梅 大勢待市長



奥多摩 師岡町長



あきる野 中嶋市長



檜原 小林副町長

多摩連全体研修会に参加して

瑞穂分区 志村武保

令和6年度多摩地区保護司会連絡協議会主催の保護司全体研修会が令和7年2月3日パルテノン多摩大ホールにて開催されました。寒い日でしたが、全体では保護司・更生保護女性会・桐友会・BBS会員・協力雇用主等394名の参加がありました。西多摩地区からは会場までやや遠かったが、44名の保護司が参加しました。

内容は「更生保護は、地域を耕す！ ―地域づくりと更生保護―」と題して、元東京保護観察所八王子（現立川）支部長で、現在は更生保護法人日本更生保護協会常務理事・事務局長幸島聡氏の講演会でした。

○八王子支部長時代は

係属事件数が全国有数であり、立川支部移転、更生保護法施行に伴い、各地を駆け巡る日々が続いた。

主な取り組みとして、学校との連携・社明行事（パレード、日の出町のマス釣り他）・社会参加活動（清掃活動、農園や学習支援など）・ケースから学ぶ日々（発達障害等が疑われる事案など）・東京都や市町村との連携を行ってきた。

これらの取り組みを通して実感、確信したことは次の3点である。

(1) 保護司会は、まずもって出会いの場、研鑽、

研修の場であること。

(2) 学校との連携が地域活動の要であること。

(3) 東京都、市町村との具体的な施策の実行が重要であること。

○更生保護活動とは

更生保護活動＝個別処遇活動（対象者）

＋地域活動（犯罪予防活動）

- ・ 個別処遇活動により、対象者を地域社会の一員として認め、対象者自身が自覚し、地域社会と確実につながるよう助ける。→社会参加活動
- ・ 地域活動により、対象者や犯罪、非行前歴のある者の生きづらさを抱えた人々を受け入れる地域づくりを行う。

○更生保護は草の根運動

『現在の保護司会の皆様は、各地域で連綿と活動が続けられています。外からはなかなか見えにくいのですが、更生保護活動は全国各地で絶えることなく続けられています。更生保護は、草の根運動に違いありません！ 皆様と一緒に更生保護活動を未来へつないでいきたいと思っています。』

幸島氏の豊かな経験と多岐にわたる事例から、保護司と地域の関わり大切さを学ぶことができました。

西多摩地区更生保護女性会との協議会

広報部

令和7年5月28日、西多摩地区更生保護女性会（以下更女）との協議会を羽村西口会議室にて開催しました。更女からは岸野会長ほか副会長2名が、西多摩地区保護司会からは、中野会長ほか副会長4名が出席しました。座長を務めた中野会長からは、サポートセンターの青梅市移転関係や羽村西口会議室の今後の使用継続などの説明を行うとともに、7月に行われる社

会を明るくする運動への協力要請を行いました。

更女の岸野会長からは、各地区で開催される社会を明るくする運動推進委員会や駅頭活動へ積極的に参加する旨の発言と西多摩地区更生保護女性会創立60周年記念行事を本年10月23日にあきる野ルピアで開催するとの案内がありました。

国際更生保護ボランティアの日

令和7年4月17日、東京都庁都民広場において、第75回「社会を明るくする運動」のキックオフイベントとして、第1回「国際更生保護ボランティアの日」（令和6年4月17日にオランダのハーグで開催された第2回世界保護司会議において、4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とする宣言が承認されました。）の記念式典及びパレードが開催されました（主催：東京都保護司会連合会・第75回「社会を明るくする運動」新宿区推進委員会）。

式典には、第75回「社会を明るくする運動」東京都推進委員会実行委員長である小池百合子

東京都知事をはじめとして、吉住健一新宿区長、増子博樹東京都議会議長のほか、更生保護関係団体の代表の方々が参列されました。

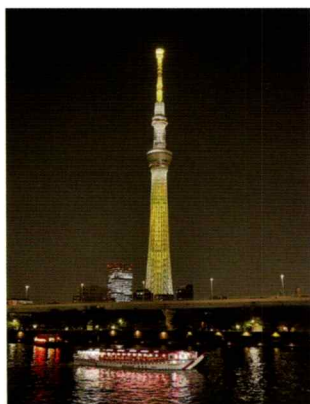
式典終了後、新宿区内の道路上においてパレードが行われ、警視庁音楽隊とともに、更生保護に関わる皆様が黄色いスカーフを振りながら行進しました。

また、第1回「国際更生保護ボランティアの日」を記念し、東京都内の各所において、更生保護のイメージカラーであるイエローの特別ライティング等の点灯イベントが行われました。

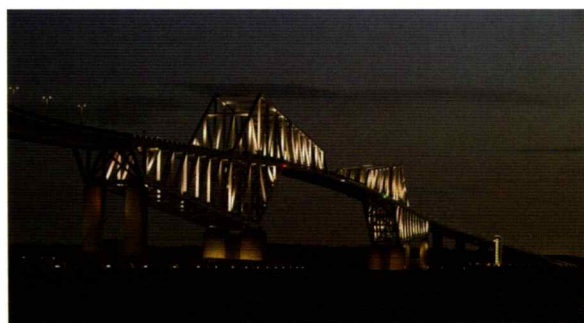
法務省ホームページより



【新宿区】東京都庁第一本庁舎
写真提供：東京都



【墨田区】東京スカイツリー



【江東区】東京ゲートブリッジ 写真提供：東京都

特別研修「保護観察と発達障害」に参加して

令和7年6月20日（金）に令和7年度第1回保護司特別研修が東京保護観察所にて行われました。地区主任官から推薦を受けた78名のうち、西多摩地区からは青梅分区武藤好正氏、羽村分区羽村薫氏、あきる野分区森本久仁子の3人が参加しました。

東京保護観察所統括保護観察官西嶋太氏による「保護観察と発達障害」の講義、駒澤大学文学部心理学科准教授岡島純子氏による「発達障害の少年に対する家族調整」の講話を拝聴しま

した。

保護司にはその時々において適切な研修が開催されています。定期的な研修（定例研修）の他に特別研修があります。今回は、発達障害の概要や特性を理解してそれに応じた指導や支援について学びました。活発な質疑応答もあり、関心の高い研修でした。



あきる野分区 森本久仁子

令和7年度から H@がより使用しやすいものになりました！

平素、更生保護行政に格段の御尽力を賜りありがとうございます。

「保護司専用ホームページ“H@（はあと）”（以下「H@」といいます。）」が、以下のとおり、より使いやすいものになりました。

現在H@を使用されている方におかれましては御参考にしていただき、まだH@に登録されていない方におかれましては、是非、安全で使いやすいH@への登録をお願いいたします。

1-1. 報告書様式に直接情報を入力できるようになりました。

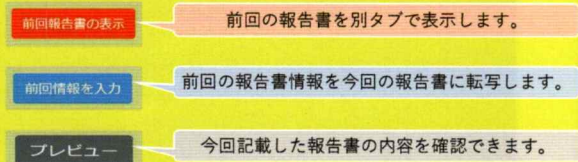
H@で報告書を作成する際、画面に表示された報告書の様式に、直接情報を入力できるようになりました。



【※】令和7年3月25日以降に新規作成する報告書から使用できます。

1-2. 前回の報告書を見ながら報告書を作成できるようになりました。

H@にて報告書を作成する際、「前回報告書の表示」ボタンを押すことで、前回作成した報告書を別タブに表示させることができるようになりました。この機能により、前回の報告書を参考にしつつ、新たな報告書を作成できます。また、「前回情報を入力」ボタンを押すことで、前回の報告書情報をそのまま転写することも可能です。



会 務 報 告

新任保護司（敬称略）

以下の方が委嘱されました。
今後のご活躍を期待いたします。



（檜原分区）

坂本 政人

令和7年5月15日発令

退任保護司（敬称略）

長い間お疲れさまでした。
今後もますますお元気でご活躍
くださいますようご祈念申し上げます。

（令和7年5月31日付）

杉浦 裕之（瑞穂分区）

（在職年数4年）

令和7年5月31日発令

会報への寄稿募集

会報第146号から新企画として「保護司のつぶやき（仮称）」を皆様からの寄稿により掲載します。皆様のご協力をお願いいたします。

- ・寄稿内容は自由（例…保護司活動の思い、趣味、旅行記、読後感、家族との思い出など）
- ・文字数は200字から400字（横書き）
- ・所属分区、お名前、表題を記載して下さい。
- ・送付先は広報部長郡司メールアドレス（m19520330gunji@gmail.com）まで

編 集 後 記

保護司会会報の巻頭ページは、西多摩地区保護司会の所属する各自治体のお祭りの風景を紹介して来ました。新年度に当たり、今回は「お祭り」の視点で若干視野を広げて、福生市の「在日米空軍横田基地日米友好祭」のフィナーレを飾る華やかな「花火大会」を取り上げました。

今年度から会報を、更に読みやすく、親しみやすいものにすべく、次号より会員の皆様よりの寄稿文を掲載していきたいと思っておりますので、ご協力を宜しくお願いします。

各分区におかれましては、「第75回社会を明るくする運動」への取組みを進めていることと思いますが、力を合わせて「犯罪非行の防止と立ち直りの支援」に向けた基本的な考え方の浸透を進めていきましょう。

広報部副部長 大河内公夫